

試験報告書

依頼者 株式会社 日本シンクマスター

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 カスタム浄水器（カスタムⅢニュータイプ・フォルテ）

表題 PFOS及びPFOA除去性能試験

2022 年 04 月 01 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

PFOS及びPFOA除去性能試験

1 依頼者

株式会社 日本シンクマスター

2 検体

カスタム浄水器（カスタムⅢニュータイプ・フォルテ）

3 試験概要

ペルフルオロオクタンスルホン酸（以下「PFOS」という。）及びペルフルオロオクタン酸（以下「PFOA」という。）をそれぞれ0.00005 mg/L±0.00001 mg/L（合計0.0001 mg/L±0.00002 mg/L）の濃度に調製した原水を検体に通水した。10分間通水後に得られたろ過水及び原水についてPFOS及びPFOAを測定し、除去率を算出した。

なお、PFOSは異性体を含めて定量した。

4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 PFOS及びPFOA除去性能試験結果

動水圧 (MPa)	水温 (℃)	分析試験項目	結果(mg/L)		除去率 (%)
			ろ過水	原水	
0.06	20	PFOS	検出せず	0.000058	95以上
		PFOA	検出せず	0.000051	95以上

定量下限：0.0000025 mg/L

5 試験条件

水 : 水道水(東京都多摩市)

水の処理 : 活性炭 PMC250-200[株式会社クラレ]

中空糸膜 ステラポア-4000シリーズ カートリッジ型
[三菱ケミカル株式会社]

原水の設定 : 濃度 PFOS及びPFOA 0.0001 mg/L±0.00002 mg/L

PFOS 0.00005 mg/L±0.00001 mg/L

PFOA 0.00005 mg/L±0.00001 mg/L

水温 20 °C±3 °C

通水条件 : ろ過流量 4.0 L/min

測定方法 : 固相抽出-液体クロマトグラフ-質量分析法

6 除去率の算出

次式により算出した。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{原水測定値} - \text{ろ過水測定値}^*}{\text{原水測定値}} \times 100$$

* 定量下限未満の場合は、定量下限値を使用。

以 上